令和７年度アスベストモニタリング調査結果

１　目的

大気中のアスベスト濃度を把握するため。

２　調査時期

夏期：令和７年８月５日（月）～６日（火）、８日（木）

冬期：令和７年１２月１５日（月）～１７日（水）

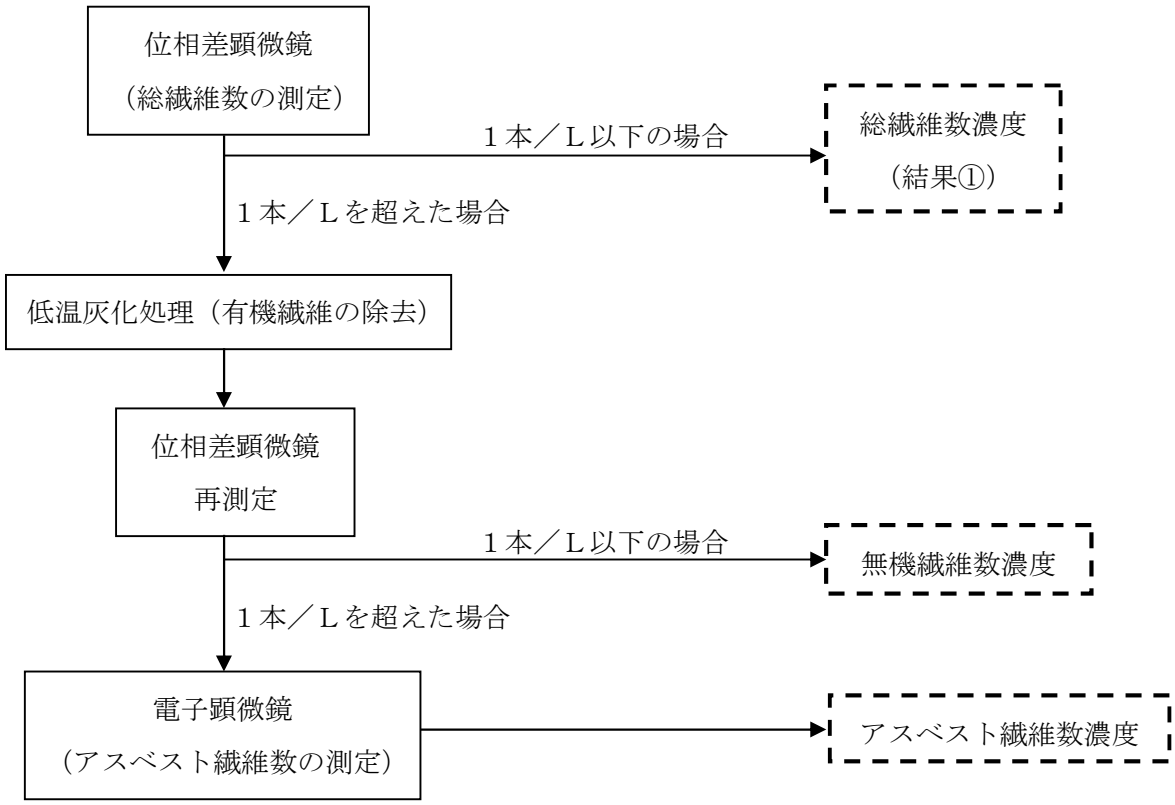
３　調査地域（１地域２地点）

調査地域名	住所	区分
川越測定局	川越市宮下町２丁目７番地４	一般環境（バックグラウンド地域）

４　調査方法

「アスベストモニタリングマニュアル（第 4.2 版）（令和４年３月環境省）」に準拠する方法

手順



5　結果（単位：本／L）

①　総繊維数濃度

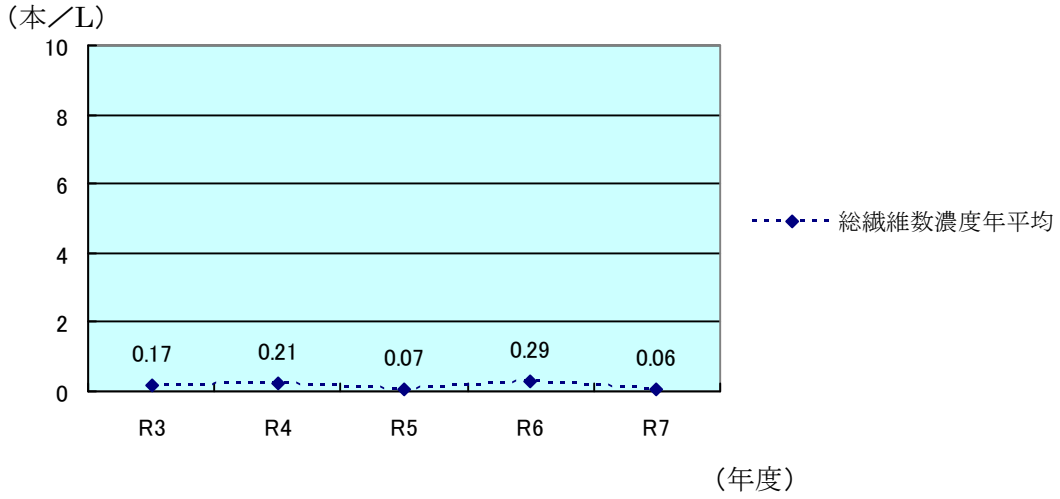
		夏期				冬期				年平均
		8/5	8/6	8/8	平均	12/15	12/16	12/17	平均	
川　越	No.1	0.056	<0.056	0.11	0.07	0.056	<0.056	<0.056	0.06	**0.06**
測定局	No.2	0.11	0.056	<0.056		0.056	<0.056	<0.056		

※検出下限値は 0.056 本／L。

※平均は幾何平均値で、検出下限値未満の場合は 0.056 本／L として計算。

6　評価

総繊維数濃度が 1 本／L を超えた検体がなかったため、低温灰化による無機繊維数濃度の測定及び電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の測定は行わなかった。

総繊維数濃度の経年変化は下のとおりである。アスベストに環境基準はないが、参考として、大気汚染防止法で定める石綿製品製造事業所が遵守しなければならない敷地境界基準（10 本／L）と比較すると、低い数値を推移している。

	年平均				
	R3	R4	R5	R6	R7
川越測定局	0.17	0.21	0.07	0.29	0.06